

ヨハネ第 21 章における牧養の道を取り、召会を建造する

聖書：ルカ 22:31-33. マルコ 16:7. ヨハネ 21:15-19. II コリント 7:2-7. 12:15-16

I. ヨハネ第 21 章、牧養についての章は、ヨハネによる福音書の完成また総括です。牧養はヨハネによる福音書に対するかぎです：

- A. もし、わたしたちが牧養とは何であるかを知らないなら、ヨハネによる福音書全体はわたしたちにとって空虚なものになります。わたしたちは人を牧養するときにはじめて、ヨハネによる福音書を内在的に知ることができます——ヨハネ 3:16. 4:10, 14. 10:9-18. 21:15-17。
- B. ヨハネによる福音書は、キリストがわたしたちをはぐくみ養うことによって、来てわたしたちの命となることについての書です。人をはぐくむとは彼らを幸いにし、愉快にし、心地よくすることであり（マタイ 9:10. ルカ 7:34）、人を養うとはすべてを含むキリストを彼らに供給することです（マタイ 24:45-47）：
  - 1. 神・救い主としてのキリストは、ナタナエルによって神の御子として認められたとき、天が開け、神の御使いたちが人の子としてのご自身の上を上り下りするのを、ナタナエルは見ると答えました。それは、ヤコブが夢の中で見た天のはしごのようでした。これは一種のはぐくみであって、ナタナエルを励ましてご自身に従わせ、ご自身の養いにあずからせ、ヨハネによる福音書全体に啓示されているすべての神聖な益を得させました—— 1:45-51。
  - 2. 神・救い主としてのキリストは、不道徳なサマリアの女を救うことを願ったとき、ユダヤからサマリアを通過してガリラヤに行き、サマリアの主要道路から迂回してスカルの町に行き、スカルに近いヤコブの井戸で、彼の対象が来るのを待たなければなりません。それは、彼が彼女に飲むものを与えるように求めることによって、彼女をはぐくみ、命の水をもって彼女を養うためでした。この命の水は流れる三一の神です—— 4:1-14。
  - 3. 訴えるパリサイ人のだれも姦淫の女を罪に定めることができなかつたとき、神・救い主としてのキリストは、彼の人性において、彼女に「わたしもあなたを罪に定めない」と言って彼女をはぐくみ、大いなる「わたしはある」として彼女を養い、罪から自由にして、彼女が「もう罪を犯」さないようにすることができるようにしました—— 8:3-11, 24, 34-36。

II. 主は復活の後ペテロを牧養して、ペテロがご自身の小羊を養い、ご自身の羊を牧養するように委託しました。これは使徒の務めをキリストの天の務めと合併して、神の群れ、すなわち召会を顧みることであり、その結果キリストのからだをもたらします——ヨハネ 21:15-17：

- A. ペテロは彼の天然の力と能力において自信があり、牢獄へも死へも主に従って行くと考えるまでになりました——ルカ 22:33。
- B. ペテロは試みられ、主を三度否み、小さな女中の前でさえ否みました——ヨハネ 18:15-18, 25-27。
- C. ペテロは徹底的に打ち破られ、完全に失敗して、自分は絶対に信頼できず、もはや

自分に何も信頼すべきではないことを認識しました——マタイ 26:69-75. ピリピ 3:3。

D. わたしたちが経過する試練は、主に用いられて、わたしたちの天然の性情と習慣をふるいにかけて破壊し、聖霊の円熟と甘さの構成をもたらします——ローマ 8:28. ルカ 22:31-32. 参照、エレミヤ 48:11。

E. 奴隷・救い主の復活を発見した三人の姉妹たちに対する御使いのメッセージは、彼女たちが「行って、弟子たちとペテロに告げ」ることでした——マルコ 16:7:

1. 「とペテロ」という句が示すのは、ペテロが失敗し、つまずき、墮落しても、主は彼を放棄しなかったということです。「とペテロ」はまた、「とあなた」を意味します。これはペテロのように失敗したあなたです。

2. 主がわたしたちに対して持っている心を、わたしたちがみな見ますように。彼がわたしたちを愛さないこと、彼がわたしたちを忘れること、彼がわたしたちを放棄することは不可能です——ローマ 5:6-10. ゼカリヤ 2:8. イザヤ 49:15-16。

F. 主は来てご自身に対するペテロの愛を回復し、彼に命じて主の召会を牧養させ、殉教のために彼を備えて、彼が天然の力に信頼して主に従うことがないようにしました——ヨハネ 21:15-19。

G. わたしたちは実を結んで人を養うために、神聖な命の豊富を享受して流し出す必要があります。これは、わたしたちが主を愛することを必要とします—— 15-17 節, 7:38。

H. ペテロは失敗を通して、主にある信仰によって、へりくだりをもって兄弟たちに仕え、神の群れを牧養することを学びました——ルカ 22:31-32. I ペテロ 5:2-6。

**III. 牧養する道を取って福音を宣べ伝え召会を復興することは、愛の中でキリストを人に供給する生活であり、召会を建造するためです。この生活は実を結ぶ生活です——使徒 20:20, 31. I コリント 8:1. ヨハネ 15:5:**

A. 諸召会を顧み聖徒たちを牧養することで、必要とされるのは供給する命の親密な関心です——II コリント 7:2-7. 12:15-16. ピレモン 7, 12 節:

1. 聖徒たちを牧養するとき、わたしたちは人を死なせる可能性があります。この死なせること、この実がないことの原因は、親密な関心に欠けることです——参照、II コリント 3:6:

a. 神の言葉の乳、すなわちキリストの命の供給は、キリストにある新しい信者たちを養うのに用いられるべきであって、彼らを「煮」るのに用いられるべきではありません——出 23:19 後半。

b. もし、わたしたちに働きを遂行する能力があっても、親密な関心に欠けるなら、わたしたちの働きに実はありません。わたしたちの心は広げられて、その状態がどうであっても、すべての信者を抱擁しなければなりません——II コリント 6:10-11。

2. わたしたちがどのように実を結ぶか、どれほど実を結ぶかは、わたしたちに何ができるかによるものではありません。それは、わたしたちに親密な関心があるかによります。

3. 供給する命は人を温める命です。わたしたちは命を聖徒たちに供給しようとする

なら、彼らに対する真の関心、すなわち情感に富んだ、深く、親密な関心を持たなければなりません。

- B. キリストのからだを建造するために、わたしたちが何であっても何を行なっても、愛が最も卓越した道です——Ⅱテモテ 1:7. I コリント 12:31 後半. 13:4-8, 13 :
1. 久しく集会のない人たちは、召会が自分たちを罪定めしていると思っています。わたしたちが持たなければならない愛は、行って彼らに、召会はだれをも罪定めしていないと告げることです。むしろ、召会は、久しく集会のないすべての人が戻って来ることを見たいのです。
  2. 主のあわれみがないなら、わたしたちは久しく集会のない人と同じになるでしょう。ですから、わたしたちは彼らを愛さなければなりません。
  3. それはすべて愛にかかっています。それは賢い王ソロモンが、「愛はすべての違反を覆う」と言ったようにです——箴 10:12 後半。
  4. 「知識は人を思い上がらせますが、愛は人を建造します」——I コリント 8:1 後半。